

	<p>第 91 号 発行日 令和 2 年 4 月 18 日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 山口 智子 事務局 久保田安紀 (HP http://hizasi.web.fc2.com)</p>
---	--

令和元年度第 2 回登録要約筆記者研修会開催！ 全要研 山岡千恵子氏を迎えて

今回の登録研は、要約筆記者現任研修会として開催された。奈須執行理事のご挨拶のあと、全要研の山岡千恵子氏が「現場での共有情報の活かし方について」という内容で午前 2 時間、午後 2 時間みっちり研修をしてくださった。

派遣と重なった土曜日だったが、手書き 9 名、PC 6 名の参加があった。

最初の 1 時間は、レジュメとテキストに沿って、「共有情報とは何か」「共有情報を活用するとどうなるのか」について講義があり、具体的な活用の方法を説明してくださった。時折、指名して質問されたので、参加者は一瞬たりとも気が抜けなかった。その後、講演会の映像を見聞きしながら、手書き、PC それぞれが実習を行った。

午後からはレジュメのある講演会の実習を行った。サブが共有情報をどう提示するかの指摘が行われ、学ぶことの多い研修会だった。(野上 千賀子)



～参加者の声～

要約筆記者は常に冷静でなければならない。筆記者が笑い転げて書けなくなるとはいけない。伝わらなければ意味がない。講座で最も心に残った言葉です。

ある派遣現場で、要約筆記者が裏方ではなく、参加者になってしまう場面がありました。その時に、これは注意すべきことなのか、黙認してもよいことなのか、とても迷ったことを思い出しました。今回の研修を受けて、あれは注意すべきことだったと再認識しました。

外部の講師に来ていただく研修はとても勉強になります。できる事なら、途中で帰ったりおしゃべりしたりしないで、最後まで集中して聞いていただきたいと思います。

そして、さらに欲をいえば、録画させていただいて、登録者全員がその動画を視聴できれば、より一層充実した研修になるのではないかと感じました。



「できること」「できるだけ」「できる時に」お互いの立場を思いやって



ZUMBA 踊ってみました

12月
交流会

たまには身体を動かす交流会をしようと、ZUMBA® イベントを企画しました。インストラクターは、会長でもある私、山口が



担当。2019年12月14日土曜日10:00~という早い時間にもかかわらず、会員9名、難聴者協会3名、青年部1名、夢サラダ1名、はぐるま屋2名、会員家族1名と総勢17名も。たくさんのご参加ありがとうございました。

参加者のほとんどがZUMBA未経験者。難聴やろうの方にも参加いただいたので、始まる前のレクチャーは情報保障付き。スクリーンの前でZUMBAの説明をするのは初めて。こういったイベントになる

か楽しみでしょうがない。

いざ始まると、参加者の皆さんの楽しそうな顔が見られて、一安心。ZUMBAインストラクターとしても、とてもよい経験ができて、感謝の一日でした。今度はどんな企画が出てくるのか、皆さま、お楽しみに〜



(山口 智子)



要約筆記と手話
の情報保障
どちらも
陽ざしの会の
会員です♪

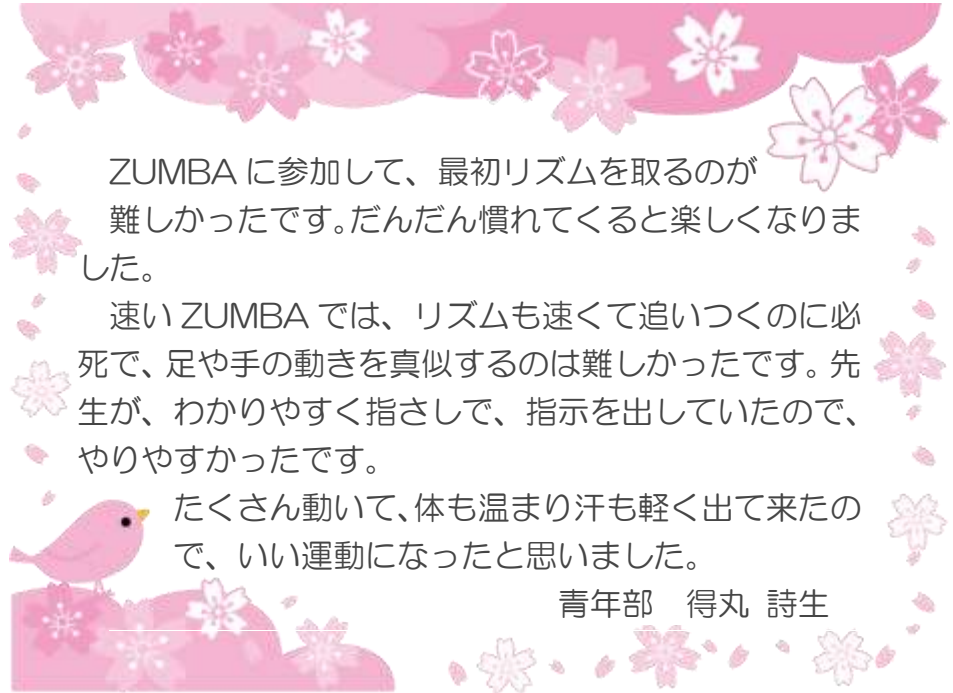


~アンケート結果・参加者のお声~

情報保障は十分か 満足：6 普通：4 無記載：3

楽しく過ごせたか 楽しかった：13

- 音楽の音が小さかった
- OHCもあり、難聴の方も踊りを理解しやすかった
- 久しぶりに体を動かせた
- 各動作のうち、パターンをいくつか説明してもらえたらより楽しかった
- 足がガクガクで運動不足を痛感した etc...



ZUMBAに参加して、最初リズムを取るのが難しかったです。だんだん慣れてくると楽しくなりました。

速いZUMBAでは、リズムも速くて追いつくのに必死で、足や手の動きを真似するのは難しかったです。先生が、わかりやすく指さして、指示を出していたので、やりやすかったです。

たくさん動いて、体も温まり汗も軽く出て来たので、いい運動になったと思いました。

青年部 得丸 詩生



12月14日(土)陽ざしの会交流企画“ズンバ”に参加しました！

もちろんズンバは初体験でしたが…自分の体力低下とリズム感の無さに傷心しました(笑)

でも、参加者に知ってる顔も多く、みんなで一緒にカラダを動かすだけで、自然と笑顔になり楽しめました！

講師をされた山口会長の元気の良さ、ノリノリなところを見れたのも良かったです…若くて羨ましい(笑)

幸い翌日の筋肉痛はありませんでしたが、また機会があれば参加してみようかな？ありがとうございました。

夢サラダ 森 将太

